

地震・津波の正しい知識を身に付ける			
01.	地震はなぜ起きるの？	設定時間	45分
学習目標	・地震の発生のしくみを知り，南海地震の特徴を理解する。		
準備物	・世界地図（火山分布図地図） ・日本地図 ・動画「プレートの動き」（下記参照）		
教材 参考資料	高知県教育委員会「南海地震に備えちょき」教材DVD 平成24年3月		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・地図を見て，日本の地理的な特徴について考える。 <p>〈発問〉 「日本ってどんな特徴があるだろう。地図を見て気付いたことを発表しよう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・南北に長い ・周りが海に囲まれている ・島国 ・平野が少ない（山が多い） ・自然が豊か </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界地図を広げさせる。 	
	展開	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害に視点をあてて考える。 <p>〈発問〉 「日本では，どんな自然災害が起きるだろう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水 ・台風 ・地震 ・津波 ・地すべり ・がけ崩れ ・竜巻 ・土石流 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・地震発生のメカニズムについて説明を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・4つのプレートの動き ・南海トラフの様子と，プレート運動との関係 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・南海地震の特徴について知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・100～150年周期で発生している ・海溝型地震であること（大きな津波が発生する可能性） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の定義を正確にすすめる ・いろいろな自然災害の中から地震・津波に焦点化してすすめる ・動画や地図を効果的に活用してイメージを持たせる ・津波の発生について必ず触れる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・わかったことをまとめる。 		
学習指導要領との関連	社会((4) 地域社会における災害及び事故の防止) 特別活動，総合的な学習の時間		

地震・津波の正しい知識を身に付ける			
02.	震度とマグニチュード	設定時間	45分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・マグニチュードと震度のちがいを理解する ・震度階級と揺れの強さの関係を知る。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・動画「地震の揺れ」(下記①参照) ・「気象庁震度階級関連解説表」(下記②参照) 		
教材 参考資料	① 東京消防庁電子図書館ビデオライブラリー http://www.tfd.metro.tokyo.jp/elib/video/index.html ② 高知県教育委員会「南海地震に備えちよき」教材 DVD 平成24年3月		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・それぞれの体験から地震の揺れについて気付いたことを話し合う。 〈発問〉 「地震で揺れたとき、どんなことを思った？」 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・誰かに言われるまで気付かなかった。 ・すぐ気付いて怖かった。 ・意外と揺れないなと思った。 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・できれば体験をもとに進めたい。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・動画「地震の揺れ」から地震の揺れ具合と、「震度」について考える。 〈発問〉(動画を見て) 「この揺れで、どれくらいの震度だと思う？」 「これで震度〇だけど、どう思う？」 ・「震度」と「マグニチュード」のちがいを知る。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 震度…揺れの大きさ ○ マグニチュード…地震の持つエネルギーの大きさ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・震度階級表から、10段階の震度と揺れの関係(生じる状況の変化)について知る。 ・地震後の様子を撮影した写真を見ながら、地震の持つエネルギーと被害状況の関係性について知る。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和南海地震 ・阪神・淡路大震災 ・中越地震 ・東日本大震災 など </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を復習しながらすすめる。 ・反応を確認しながら、揺れと震度の関係に気付かせる。 ・スライドから、「震度〇」でどんな状況になるかを説明する。 ・「マグニチュード〇」の地震が発生し、どんな状況になったかを説明する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域や家庭で起こり得る被害と対策について考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な備えに着目させる。
学習指導要領との 関連	社会(4)地域社会における災害及び事故の防止 特別活動, 総合的な学習の時間		

地震・津波の正しい知識を身に付ける				
03.	津波の威力はどれくらい？	設定時間	45分	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 津波注意報と警報の違いを知るとともに、避難行動に役立てる意識を高める。 津波がもたらす被害の大きさを知り、津波から身を守る態度を養う。 			
準備物	<ul style="list-style-type: none"> 東北地方太平洋沖地震の写真、新聞記事 動画「津波実験」(下記参照) 			
教材 参考資料	高知県教育委員会「南海地震に備えちよき」教材DVD 平成24年3月			
学習活動		留意点		
導入	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標を確認する。 <p>〈発問〉 「津波ってどんなものか知ってる？」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 建物を破壊する 人間を流す スピードが速い 地震の後発生する 二次災害を引き起こす </div>			
	展開	<ul style="list-style-type: none"> 高い所に避難する理由を考える。 <p>〈発問〉 「避難場所が高台やビルなのはなぜだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 動画「津波の実験」を視聴し、わかったことを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 50cmの津波でも人は立ってられない スピードも速く、威力も大きい </div> <ul style="list-style-type: none"> 「津波注意報」と「津波警報」の違いについて知る。 		<ul style="list-style-type: none"> 津波注意報と津波警報の違いについて表に示す。
		まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 予想される津波への対処についてまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 地震が発生したら → まず避難行動(頭部保護) 揺れが収まったら → 緊急避難場所への避難 緊急避難したら → 情報収集 警報や注意報が出たら → より高い場所への避難 </div>	
学習指導要領との 関連	社会((4) 地域社会における災害及び事故の防止) 特別活動、総合的な学習の時間			

地震・津波の正しい知識を身に付ける			
04.	校区の防災マップをつくろう	設定時間	180分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 地域の地理を理解し、危険な場所や防災のための施設・設備の設置状況を知る。 防災の視点から地域を見つめ、地域防災への関心を高める。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> 校区白地図（下記参照） デジタルカメラ 自治会、自主防災会役員の方への協力依頼（引率協力） 文房具類（色鉛筆、のり、はさみなど） 		
教材参考資料	高知市行政事務支援システム「高知市 WebGIS」（行政事務支援システム接続 PC より）		

	学習活動	留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが住む地域の特徴について班で考え、発表する。 〈発問〉 「わたしたちが住んでいるまちにはどんな特徴があるかな？」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 地理（地形） 産業 文化 </div> <ul style="list-style-type: none"> 防災（災害対策）の視点から校区探検を行うことを知る。 すでに知っている地域の特徴を書き込み、班で共有する。 〈発問〉 「みんなが知っている危険な場所に印をつけてみよう」 「みんなが知っている防災のための施設に印をつけてみよう」 班ごとに役割分担を行い、計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 危険箇所発見係 防災施設発見係 撮影係 記録係 など </div>	<ul style="list-style-type: none"> 防災の視点で校区を探索し、班ごとに「防災マップ」を作成することを伝える。 あらかじめ予測を立てさせることで、校区探検への興味・関心を高める。 班の中で役割分担させる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 玄関前に整列し、先生から注意事項をきく。 引率してくれる方に挨拶し、班ごとに出発する。 班ごとに担当区域を探索し、防災の視点から地域の記録をとる。 （必要に応じて白地図に書き込む）。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 低地 がけ崩れの危険箇所 袋小路 狭い道路 ため池 消化栓 防火水そう 津波避難ビル 集会所 など、気付いたことをすべて書き込む </div>	<ul style="list-style-type: none"> デジタルカメラを配付する。 高低差（標高）は気付にくいので、得に注目するように伝える。 各種施設とともに、自然地形に着目させる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 模造紙に校区の地図をかき、校区探検の記録をマーキングする。 （色分け等、凡例をつくる） 必要なことがらを付箋紙に書き込み、模造紙に張る。必要に応じて写真を貼る。 班ごとに「防災マップ」のポスターセッションを行う。 学習して気付いたことや感想をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 模造紙にまとめながら、ポスターセッションでの説明内容を考えておくように指示する。
学習指導要領との 関連	社会((4) 地域社会における災害及び事故の防止) 特別活動、総合的な学習の時間	

地震・津波の正しい知識を身に付ける			
05.	昔々、高知市は… ～大津地区地域教材～	設定時間	45分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 高知市平野の成り立ちを知る。 わたしたちの生活が、長い時間の流れの中で形作られた自然地形のうえに成り立っていることを理解する。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> 大高坂山、五台山、隼人神社、鹿児島神社山の写真 土佐の国「古代の図」(下記①参照) ・紀貫之「土左日記」書下し文(下記②参照) 		
教材参考資料	<p>① 土佐の国「古代の図」 西野ゆるす「土左日記の航海記」 http://www7a.biglobe.ne.jp/~yurusu240/tosanikki.htm</p> <p>② 紀貫之「土左日記」 萩谷朴『影印本 土左日記』昭和43年 新典社(桃園文庫旧蔵為家本(青谿書屋本)の翻刻および校訂) http://www.ne.jp/asahi/office34/yoshida/text/tosa/12li.htm</p>		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 高知市の地理的特徴について3年生の学習を振り返り、発表する。 <p>〈発問〉 「高知って、どんなところ？」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 海に近い 川がたくさんある 北部には高い山々がある </div>	<ul style="list-style-type: none"> 「自然が豊か」との共通認識が持てるようにする。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 「土佐の国・古代の図」を見て気付いたことを発表する。 <p>〈発問〉 「この図を見て気付いたことはありますか？(どこの地図かな?)」</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知市の大部分が、昔は海であったことを知る。 昔は海だった高知市が、なぜ今は陸地になっているのかを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> かつて「島」だった場所 大高坂山、五台山、隼人神社、鹿児島神社 地名から読み取れる昔の地形 「津」、「島」、「浜」、「潮」、「江」などの文字が付く地名。 </div> <p>〈発問〉 「昔は海だった高知市が、なぜ今は陸地になっているのかな？」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 長年の地殻変動(時に災害を伴う)によって、隆起、沈降が繰り返された結果今の陸地があり、この自然現象は誰も止めることができない。 私たちは、自然が作り出した地形の上で生活している。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 大津と「土左日記」の縁について知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>紀貫之は、任を終えて都に変える際に、大津から船で出港した。 →大津は昔は港だった＝大津は昔は海だった。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 土佐の国「古代の図」を示し、これが何であるかを問うところから始めるとよい。 地形や地名などから読み取らせる。 高知市には河川が多いので、川が果たす役割について考えさせるとよい(三角州など)。 「自然現象に人の営みが巻き込まれると災害になる」との図式を確認する。 「舟出の地」の石碑の写真を示す。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習をまとめる。 		
学習指導要領との関連	国語(C 読むこと) 社会((1)自分たちの住んでいる身近な地域,(4)地域社会における災害及び事故の防止) 特別活動,総合的な学習の時間		

地震・津波の正しい知識を身に付ける			
06.	わたしの街の被害は？ ～南海地震の浸水域～	設定時間	45分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分が住んでいる地域の地理的特徴を知る。 南海トラフ巨大地震の被害想定を確認し、正しい避難行動に結び付ける。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> 高知市標高マップ（下記①参照） 「'98 高知豪雨」記録映像（下記②参照） 		
教材 参考資料	① 「高知市標高マップ」高知市防災対策部地域防災推進課 http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/hyoukou-map.html ② 「危険予知が『生命』を守る ～'98 高知豪雨の教訓～」 高知市消防局・テレビ高知 1999年		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標を確認する。 前時までの復習をする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 地震が起きるしくみについて 津波が発生する理由について 津波の威力について </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> 南海トラフ巨大地震発生時の被害想定を知る。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 「南海トラフ巨大地震」とはどんな地震なのか。 高知市はどれくらいの揺れ（地震動）に襲われるのか。 高知市を襲う津波はどれくらいの高さなのか。 津波はどれくらいの時間で襲ってくるのか。 地盤沈下や津波の影響で、どれくらいの浸水するのか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 地域の浸水域を、標高マップで確認し、色を付ける。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 自宅及び学校…赤で印 浸水域…水色で塗る 高台や津波避難ビルなどの避難場所…緑で印 </div> <ul style="list-style-type: none"> 確認した結果からわかったことを発表する。 〈発問〉 「被害想定を地図で確認した作業をやって、わかったことは何か」 「'98 年高知豪雨」の時の記録映像を視聴する。 		
展開	<ul style="list-style-type: none"> 確認した結果からわかったことを発表する。 〈発問〉 「被害想定を地図で確認した作業をやって、わかったことは何か」 「'98 年高知豪雨」の時の記録映像を視聴する。 		<ul style="list-style-type: none"> 「浸水」のイメージを持たせる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 「想定外の想定」について考え、本時の学習をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 思いもよらない方向からの浸水 地盤沈下 </div> → 早期避難の重要性		<ul style="list-style-type: none"> 今まで考えていなかったことが現実として起きる可能性があることについて説明する。
学習指導要領との 関連	社会((4) 地域社会における災害及び事故の防止) 特別活動, 総合的な学習の時間		

地震・津波から身を守る技能を身に付ける			
07.	非常持ち出し袋の中身は？	設定時間	45分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・非常持ち出し袋の中に何が入っているかを知る。 ・自分の家に必要な非常持ち出し袋の中身を考える。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート (P.87~88) ・非常持ち出し袋 (物品を含む) 		
教材 参考資料			
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を確認し、「非常持ち出し袋」の準備をさせる。
	展開	<ul style="list-style-type: none"> ・非常持ち出し袋についての説明を聞く。 ・袋の中に何が入っているかを想像し、「なぜ、それが入っていると思うか」を、ワークシートに記入する。 ・非常持ち出し袋の中身を見ながら、自分の想像した物品と照らし合わせる。また、理由について説明を聞く。 ・自分の家の非常持ち出し袋に必要な物品を考え、ワークシートに記入する。 〈発問〉 「自分の家の非常持ち出し袋には、どんな物を入れておく必要があるかな？」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の人数，年齢構成 ・住んでいる場所（海辺，山手，低地） ・日数の想定 </div>	
まとめ		<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・非常持ち出し袋の中身は，それぞれの家庭によって必要な物が違う。 ・食料品は「消費期限」に注意する。 </div>	
学習指導要領との 関連	特別活動，総合的な学習の時間		

地震・津波から身を守る技能を身に付ける			
08.	地震・津波からどう避難する？	設定時間	45分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で、避難に適した場所を確認する。 ・「自分の命を自分で守る」ための行動計画を立てることができる。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・校区の航空写真 ・高知市標高マップ（下記①参照） ・校区ハザードマップ（防災マップ等） ・DVD「津波からにげる」（下記②参照） 		
教材 参考資料	① 「高知市標高マップ」高知市防災対策部地域防災推進課 http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/hyoukou-map.html ② 教材DVD「津波からにげる」 気象庁 2012年（H24.5.31 各校に配付）		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・航空写真を見て、自分が住んでいる地域の特徴を知る。 〈発問〉 「みんなが住んでいる所って、どんなところかな？」	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の家」、「親せきの家」、「学校周辺」など、身近な場所の確認をする。 ・地域の高台や、津波避難ビルの位置関係をつかみながらすすめる。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅が密集している ・田畑に囲まれている ・山が近くにある ・川が近くにある ・高層マンション </div>		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップを参考に、避難に適した場所を確認しながら、次の状況下で避難場所に続く道順を、白地図に記入しながら確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校の時 ・よく行く遊び場にいる時 ・習い事に行く（帰る）時 ・昼間 ・夜間 ・雨天の日 ・大きな荷物を持っている時 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・DVD 教材「津波からにげる」から釜石の子どもたちの避難行動について視聴し、迅速な避難行動を起こすために必要なことをグループで確認し合い、発表する。 〈発問〉 「素早い避難行動をとるためにはどんなことが必要か考えてみよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップのほか、白地図やこれまでの学習の成果物（防災マップ等）があると進めやすい。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「揺れの後には津波」を意識する ・避難場所を決めておく ・何も持たずに逃げる ・自分の命を守ることに専念する </div> <ul style="list-style-type: none"> ・発表された意見をさらに深めて考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の避難計画を、家族に報告する（家族の避難計画も知る） ・今すぐできる備えをする （逃げるためにはケガをしないこと→家具の固定 など） </div>		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習をまとめる。 		
学習指導要領との 関連	社会((4) 地域社会における災害及び事故の防止) 特別活動、総合的な学習の時間		

地震・津波の正しい知識を身に付ける			
09.	建物の安全を守る	設定時間	45分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・既存不適格の建物の危険性を理解する。 ・地震に強い建物のしくみを理解する。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・死因別死者数グラフ(下記参照) ・ジャッキ, パール, のこぎり等 ・実験器具(スプリング, 棒) 		
教材 参考資料	高知県教育委員会「南海地震に備えちよき」教材DVD 平成24年3月		

学習活動		留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・阪神・淡路大震災について振り返る。 <p>〈発問〉 「阪神・淡路大震災について知っていますか？」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成7年(1995年)1月17日午前5時46分, 兵庫県南部地震が発生。マグニチュード7.3, 震源は淡路島北部深さ16kmの活断層。 ・死者6,434人 負傷者43,792人・家屋被害248,412棟 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・阪神・淡路大震災における死者の死因について考える。 <p>〈発問〉 「亡くなられた方の, 亡くなった原因は何だと思えますか？」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・死者の83.3%が「圧死」及び「窒息死」 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・地震の名称は「兵庫県南部地震」, これによって引き起こされた災害が「阪神・淡路大震災」である。 ・戦後初めて「震度7」を記録した地震(旧震度階級)であることを補足する。 ・関東大震災や東日本大震災と比較するのもよい。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・「圧死」や「窒息死」の原因について考え, 発表する。 <p>〈発問〉 「なぜ, 阪神・淡路大震災では「圧死」や「窒息死」が多かったのかな？」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・激しく揺れて, 部屋の中の家具が倒れたから。 ・強度が十分でない建物があったから。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・行っておくべき対策について考える。 <p>〈発問〉 「「圧死」や「窒息死」を防ぐためには, どんな対策が必要か考えよう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・家具の固定 ・ガラス飛散防止対策 ・パール, ジャッキ, のこぎりなどの工具の準備 ・建物の耐震化や建て替え </div> <ul style="list-style-type: none"> ・発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「圧死」と「窒息死」のちがいに注意する。 ・グループ活動としてもよい。 ・実物を示しながら発表をまとめる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・建物を丈夫にする仕組みについての実験を観察する。 ・本時の学習をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震, 面新及び制震についての実験を演示しながら, 違いを説明する。
学習指導要領との 関連	社会((4) 地域社会における災害及び事故の防止) 特別活動, 総合的な学習の時間	

自助・共助の態度を身に付ける			
10.	避難生活に協力しよう	設定時間	45分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い地域づくりに参画する態度を身に付ける。 ・人とのつながりの大切さに気付くとともに、共助の重要性を理解する。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・「阪神・淡路大震災における住民による救助・救護活動」のグラフ（下記参照） 		
教材 参考資料	高知県危機管理部南海地震対策課「南海地震に備えちよき」（家庭保存版） 平成23年11月 http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/sonaetyoki-pumphlet.html		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・巨大地震発生直後の状況をイメージし、公助が届き始めるまでの3日間に必要なもの（こと）について考える。 <発問> 「巨大地震発生から3日間生き抜くために必要なものは何だろう？」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・水 ・食糧 ・トイレ ・寝るスペース ・着替え ・おむつ ・薬 ・けがの手当て など </div> <ul style="list-style-type: none"> ・これらをどうやって確保するかを考える。避難生活には「共助」が必要であることに気付く。 		<ul style="list-style-type: none"> ・巨大地震直後は、これらの多くが不足（不十分）な状況になることを補足し、共助の必要性に気付かせる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・避難時の心がけについて考え、ワークシートに書く。 <発問> 「避難生活の中で、私たち小学生にできることはどんなことだろう？」 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・負傷者の手当て、移動の手伝い ・動けない（動くことが難しい）人への心配り（水、食料配給の手伝いなど） ・高齢者や幼児の心のケア（話し相手、遊び相手） ・自分自身が集団生活のマナーを守ること </div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで意見を共有し、発表する。 ・避難所での生活で、一人あたりに必要なスペースを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 一人あたり最低2㎡（約1畳、模造紙大） </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な条件下における避難生活を想定させる（季節、時間、場所など）。 ・模造紙を床に敷き、実際に寝かせてみるとよい。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・阪神・淡路大震災における住民による救助・救護活動のグラフを見て、自助と共助の大切さについて考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自助、共助によって助けられた命の多さに気付かせる。
学習指導要領との 関連	社会((4) 地域社会における災害及び事故の防止) 道徳(1-(1), 2-(2), 4-(1)), 特別活動, 総合的な学習の時間		